

# 婦人問題に関する新著

「性の心理」の著者として有名なるハヴロツク・エリスは、「社會衛生學の勞作」と題する近業に於て、現に歐米に沸騰しつつある婦人問題に對し、最も徹底せる進歩的意見を發表せり。彼に從へば婦人問題は決して突如として現はれたるものに非ず。それは過去二百年の文明が産み出せる至當の運動なり。婦人が男子よりも低き位置に甘んぜざる可からざるは、ただ戦争が社會の最大事業たりし時代に於てのみ許さる可き事實なり。今日の如く戦争は希有の事柄となり、平和の事業が人類の全力を吸収しつつある時代に於て、婦人が解放を要求するは必然の事なり。政治的自由の獲得は婦人解放の支關にして、彼等が投票權を要求しつゝあるは固より正當の行爲と云ふ可し。されど若し婦人運動は單に政治的範圍に限られ、參政權の獲得に於て運動の目的が成就せらるゝ如く思惟するは非常なる淺見なり。婦人が投票紙を振廻したりとて、曾てコツベが絶叫したる如く社會の進歩が完成せらる可きものに非ず。または婦人が政治的に男子と同等の權利を得たりとて、曾てペンクルストが夢想せる如く「新天新地」が實現せらる可きものに非ず。選挙權の獲得の如きは唯だ婦人

が之に由りて社會制度の改良を促進し、女子と小兒との保護及び安全を増進すべき法律を通過せしむる手段として役立つ時の意味あるものなり。それ婦人運動は政治よりも更に大なる範圍を有し且更に嚴肅なる性質のものなり、參政權の獲得に奔走する婦人は先づ退きて婦人の天職は何ぞと考へざる可からず。婦人の天職は疑もなく子を産む事にあり。而して現に在るよりも更に優良なる次代の人を産む事に在り。婦人は現實の人類よりも立勝れる人類を産出す事に其全くと全力とを注ぐ事によりて始めて世界の歴史に意義ある貢獻を爲し得べし。これ婦人が有す可き目的中の最大なるものなり。參政權の獲得は決して目的其者に非ず。それは唯だ「優良なる子女の母」たらんとする最後の目的の爲に手段たる可きものなり。婦人の自覺は臆病なる保守思想家をして恐怖せしめつゝあれども、かくの如きは道理に基かざる杞憂なり。表面に於ても内實に於ても、婦人が男子の性慾を満足せしむる一個の器械として取扱はれ、若しくは自ら之に甘んずる間は社會の進歩は絶望と言はざる可からず。婦人に政治的自由を與へよ。而して此の自由なる婦人をして、政治的に奴隸なる

婦人が生み且育て能はざる高尚なる心身の子女を産出せしめよ。婦人運動は此の「母たる資格」を完成する第一歩として當然有意義なり。識者の努む可きは彼等の運動をして邪路に陥らざらし

## バルカン問題と印度回教徒

バルカン諸邦が土耳其に加へつゝある壓迫は、印度に於ける回教徒を甚しく激昂せしめつゝあり。露國が波斯に對する年來の横暴、伊太利がトリポリに於ける土耳其の主權に加へたる暴虐、並に近く回教大學の設立不認可によりて、既に反抗の情を喚起せられたりありし英國治下一千萬の回教徒が、バルカン諸邦が無名の師を起して、回教國の首長たる土耳其の運命を危胎に瀕せしめつゝあるを見て、不安と慷慨を感じるは寧ろ當然の事と言ふ可し。回教徒の機關なる印度評論は其社説に於て下の如く言へり。吾等の同胞は何故に理由なくして攻撃せらるや。歐羅巴が唯だ白色人種によりてのみ占めらる可しとは何人の定めし規則ぞ。吾等の同胞は唾棄すべき人種並に宗教的偏見の前に不法の犠牲となされつゝあり。アラビヤの豫言者の信者には國境なし。二億の教徒は悉く同胞なり。吾等は若し事情にして許

さば起つて土耳其の同胞と其艱難を分かち、土耳其をして其當然有すべき權利を維持せしめんが爲に劍を握る事を光榮とするものなりと。回教徒は恰も猶太人がメシヤの出現を期待する如く、常に第二の豫言者の出現を待ちつゝあり。若し一大偉人の出づるありて能く彼等をして其救主なるを信せしめば、二億の信徒は悉く劍を提げて聖戰に加はるを辭せざるなり。吾等はバルカン戦争が宗教的意味を帯ぶるに至らば事態容易ならざるものあるを信せんとす。而して最近の獨乙及び英國の有力なる三雜誌に公表せられたる論説に由て、歐洲人が土耳其の背後に存在する「回教的精神」を恐怖しつゝあるを知り得たり。バルカン問題は決して早速結末を見るが如きものに非ざるべし。

白川龍太郎「道」第60号(1913.4)